



南九州市

議会だより

—MINAMIKYUSHUCITY—

第46号

令和元年
5月9日



知覧平和公園の桜並木

【目次】

平成31年度一般会計当初予算	・・・	P2
平成31年度特別会計当初予算	・・・	P5
平成30年度3月補正予算・第1回臨時会	・・・	P6
条例・人事案件	・・・	P7
平成30年度議会報告会	・・・	P8

市民と語る会開催団体募集	・・・	P 9
議会全員協議会	・・・	P10
一般質問	・・・	P11
インタビュー	・・・	P17

平成31年度 一般会計歳出

当初予算可決 215億4600万円

3月定例会

平成31年第2回定例会は2月19日に召集され、3月26日までの36日間の会期で行われました。
平成31年度当初予算及び平成30年度補正予算などが審議され、議案等30件のうち29件を可決し、1件を否決しました。

(単位:千円、%)				
区分	H31予算額	H30予算額	増減額	増減率
1 議会費	172,407	174,930	▲ 2,523	▲ 1.4
2 総務費	3,227,167	2,562,112	665,055	26.0
3 民生費	7,152,306	7,131,281	21,025	0.3
4 衛生費	1,730,654	1,738,327	▲ 7,673	▲ 0.4
5 農林水産業費	1,858,056	1,866,751	▲ 8,695	▲ 0.5
6 商工費	229,809	202,424	27,385	13.5
7 土木費	1,395,989	1,270,162	125,827	9.9
8 消防費	982,182	1,078,663	▲ 96,481	▲ 8.9
9 教育費	2,158,284	2,504,137	▲ 345,853	▲ 13.8
10 災害復旧費	5,037	5,035	2	0.0
11 公債費	2,216,893	2,359,901	▲ 143,008	▲ 6.1
12 諸支出金	407,216	215,277	191,939	89.2
13 予備費	10,000	10,000	0	0.0
歳出合計	21,546,000	21,119,000	427,000	2.0

総務常任委員会審査分

総務費

光ブロードバンド整備事業費

2億3800万円

市内の光ブロードバンドサービス未提供エリアにおいて通信事業者が整備する光ファイバー網の費用の一部を市が負担するもの。3ヶ年計画の初年度。今年度は瀬世地区・本別府地区を整備予定。

会議録音声認識システム導入事業費

132万8千円

会議録作成に長時間の事務を要していることから音声認識システムを導入し、事務の効率化や省力化を図るための経費。

スピーチコンテスト事業費

1942万3千円

平和情報発信のため、「平和へのメッセージ from 知覧スピーチコンテスト」を開催するための経費。

防犯関係対策費

821万4千円

安全で安心なまちづくり推進協議会の開催経費や犯罪防止等のための防犯カメラ設置に要する経費など。

消防費

消防総務費

1829万6千円

特別表彰「まとい」のウィンドケース・「消防団のあゆみ」プレート作成委託費など、消防委員会、消防出初式、消防業務に係る経費。

問：特別表彰「まとい」の展示場所は。

答：消防団のあゆみプレートと一緒に知覧庁舎1階フロアーに展示した後、南九州消防署に展示。



民間企業に設置されている防犯カメラ



特別表彰「まとい」

文教厚生常任委員会審査分

民生費

老人クラブ関係費

684万4千円

ゴールドクラブ連合会及び地域老人クラブへの運営費補助。

自立相談支援事業費

467万円

生活に困っている人が生活保護に陥ることなく、早い段階で自立した生活に戻るよう相談に応じ、その人が抱える様々な問題に対応した支援へとつなげていく事業で市社会福祉協議会へ委託するもの。

子ども子育て支援事業費

4314万8千円

延長保育や一時預かり、地域子育て支援センター及びファミリー・サポート・センター、利用者支援事業を運営する保育所等に対する補助。

衛生費

予防接種関係費

7105万9千円

予防接種法に基づいて乳幼児から高齢者までを対象に予防接種を実施するもので、緊急風しん対策業務と風しん予防接種費用の助成を新たに計上。

委員からの意見

風しん予防接種については、接種漏れがないように取り組むこと。また、追跡調査も実施することが望ましい。

川辺清掃センター焼却灰処分事業費

1443万6千円

川辺清掃センターに埋め立て処分されている汚染廃棄物の除去のため、投棄されている電化製品などの搬出処分及び整地工事に係る経費。



生ごみ処理機

生ごみ減量化モデル事業費

86万2千円

生ごみの減量化を図るため、モデル事業に取り組み1自治会を募集し、生ごみ処理機を貸し出す経費。

教育費

小学校施設整備事業費

1億7202万円

老朽化が進んでいる栗ヶ窪小学校校舎等の大規模改修に係る経費。



栗ヶ窪小学校

キャリア教育「夢の懸け橋」事業費

330万円

生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、著名人による講演会を開催し、キャリア教育の推進を図るための新規事業。



清水磨崖仏（岩屋公園）

清水磨崖仏保存活用事業費

463万円

国指定へ向けての保存整備と文化財資産活用のため、価値の啓発高揚やガイド育成のためのワークショップ開催のほか、観光客やインバウンドに対応する多言語説明装置設置に要する経費。

平成31年度当初予算 特別会計・企業会計

産業建設常任委員会審査分

農林水産業費

農政関係費

1799万5千円

農業振興に係る経費のほか、収入保険制度加入促進のため、保険料の一部を補助する。

園芸振興機械施設等導入支援事業費

330万円

園芸作物振興を図るため、個人による農業機械・被覆施設等の整備への助成を行う。

首都圏における知覧茶ブランド力強化対策事業

3792万9千円

首都圏などにおける、お茶を中心としたシティプロモーション活動や健康分野と連携した新たな商品開発など、多角化戦略による「お茶のまち・南九州市」の知名度向上を図る経費。

熊ヶ谷放牧場施設改修事業費

446万5千円

老朽化した農機具格納庫1棟の解体撤去を行う。

委員会から

工事の必要性や金額の妥当性に十分な検討がなされたか疑問だ。経費削減を行うための工事手法や施設管理のあり方について十分検討すること。



解体される農機具格納庫（熊ヶ谷放牧場）

荒茶加工施設費

3億2524万4千円

事業者が高収益な作物・栽培体系へ転換を図るために実施する施設整備に対し支援するもの。

水産振興費

1541万5千円

県が行う大川港の浚渫やイセエビ等増殖礁整備への事業負担金など。

商工費

商工総務費

2167万2千円

空き店舗活用事業補助、特産品のPRや販売拡大を図る県南部広域観光物流実行委員会への負担金など。

観光振興費

2509万7千円

観光振興に係る経費。観光パンフレット印刷や旅行雑誌の広告など。

旧知覧給食センター施設活用事業費

669万2千円

旧知覧給食センターを改修し、ねぶたまつりに使用する太鼓、台車の保管庫とするもの。



旧知覧給食センター

市道補助整備事業費

1億9620万円

小野厚地線ほか2路線の整備及び濱田橋ほか3橋の橋梁修繕に係る経費。



橋りょう補修(有村橋)

空家等対策事業費

910万3千円

危険空き家除去の促進を図るため、対策協議会の開催及び特定空家等の解体補助に要する経費。

社会資本整備総合交付金事業費（都市公園）

9760万6千円

かごしま国体開催に向け、競技会場となる知覧平和公園多目的球場などの整備を行うもの。



知覧平和公園多目的球場

土木費

市道単独整備事業費

1億5017万4千円

清水横堀線ほか8路線の改良整備、浮辺永里線ほか1路線の舗装整備など。

特別会計の主な事業

水道事業が経営戦略策定。社会変化に伴う水道事業の今後は？ 将来を見据えた計画を！！

国民健康保険事業特別会計

一般被保険者療養給付費

33億8717万4千円

医療費のうち、自己負担額を除いた額を、国保連合会を通して医療機関等に支払う給付費。

一般被保険者高額療養費

5億7950万3千円

医療費の自己負担額のうち、定められた負担額を超える額を支給するもの。



後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金

5億3749万円

鹿児島県後期高齢者医療広域連合に支出する納付金。

介護保険事業特別会計

居宅介護サービス給付費

13億6800万円

地域密着型介護サービス給付費

9億6900万円

施設介護サービス給付費

17億2800万円

それぞれの介護サービスを利用した場合に、自己負担額を除いた9割または8割を南九州市（保険者）が国保連合会に支払うもの。

農業集落排水事業特別会計

排水施設管理運営費

1858万4千円

知覧垂水、川辺東部、知覧瀬世上の各処理場の維持管理に要する経費。施設の長寿命化を図るため、整備構想業務委託料を新規に計上。

公共下水道事業特別会計

浄化センター維持管理費

4504万7千円

来年度から企業会計へ移行するための地方公営企業法適用支援業務委託料など。



知覧浄化センター

水道事業会計

〔収益的支出〕
原水及び浄水費

1億2351万8千円

各地区水道施設の取水、浄水、送水などの維持に係る経費。

経営戦略策定支援業務委託料

1023万円

将来の給水人口、水需要の予測や料金収入による財政計画、経営理念や基本方針を定めるもの。

委員会から

人口減少に伴い赤字に転じる可能性があり、料金値上げの必要が生じることも考えられる。施設の老朽化に伴う更新費用や経営の見通しを十分に見据えた計画を策定し、料金の値上げが生じる際は、市民に急激な負担増とならないよう事業を進めていくことを要望する。

条例の制定・改正

南九州市火葬場条例の一部改正

- ・南薩地区衛生管理組合から離脱し、颯娃浄楽苑と川辺火葬場で本市全域の火葬を行う。
※平成31年4月1日から
- ・火葬場使用料の変更
大人(13歳以上)4000円 → 8000円
小人(13歳未満)3000円 → 6000円
※令和元年7月1日から

(原案可決)

南九州市敬老祝金等支給条例の一部改正

- ・敬老祝金の受給対象者と額を改正するもの。
改正前:「80歳, 88歳 5000円」
改正後:「88歳 10000円」

(原案可決)

南九州市課設置条例の一部改正

- ・南九州市の行政組織を再編することに伴い所要の改正をしようとするもの。
- ・「農政課」と「畜産課」を統合し、「農政畜産課」に改める。(否決)

(審査の過程)

総務・産業建設常任委員会で連合審査
→総務常任委員会において、賛成少数で否決
(本会議での採決)

反対討論と賛成討論が出されたが、起立採決において賛成少数で否決

(主な反対討論の主旨)

畜産業は、南九州市の基幹産業である。課を統合せず、専門課を残すべきだ。

(主な賛成討論の主旨)

行政改革を進める上で、職員減に対応した組織運営を行う必要がある。現実への対処も重要。

その他の条例

- ・南九州市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 (原案可決)
- ・南九州市介護保険介護給付費準備基金条例の一部改正 (原案可決)
- ・南九州市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (原案可決)
- ・南九州市公営住宅条例及び南九州市特定賃貸住宅条例の一部改正 (原案可決)
- ・南九州市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 (原案可決)

- ・南九州市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 (原案可決)
- ・消費税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 (原案可決)
- ・南九州市移住・交流お試し居住条例の制定 (原案可決)
- ・南九州市立学校設置条例の一部改正 (原案可決)
- ・ミュージアム知覧条例の一部改正 (原案可決)
- ・南九州市川辺やすらぎ館条例の一部改正 (原案可決)
- ・南九州市一般住宅条例の一部改正 (原案可決)

議会を傍聴してみませんか

次の議会は6月19日(水)開会予定

※手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書きだけ

6月定例会

6月19日(水)	本会議(開会)	補正予算等質疑・委員会付託、一般質問
20日(木)	本会議	一般質問
21日(金)	本会議	一般質問
24日(月)	常任委員会	補正予算等審査
28日(金)	本会議(閉会)	補正予算等採決

◆議会中継◆
インターネット配信または各庁舎ロビーでご覧いただけます。

浮邊 泰祐氏

颯娃町別府

松窪 まゆみ氏

颯娃町御領



◆人権擁護委員◆
人権擁護委員は、市が議会の意見を求め、法務大臣に推薦します。
任期は、法務大臣が委嘱する令和元年7月1日から3年間です。

人事案件

ふるさと寄附金事業費などを補正

一般会計補正額
補正後予算総額

1億9448万円
227億504万円

30年度
3月補正

一般会計補正予算

総務費

ふるさと寄附金事業費

1億1265万6千円

不被害虫対策費

△1282万円

ふるさと納税寄附金が増加する見込みであるため、返礼品費用、送料、決済手数料などを増額するもの。

住んでみよう応援事業費

300万円

消費税率改正前に移住定住促進対策補助金申請者の増加が見込まれるため増額するもの。

民生費

私立保育所等運営費

3435万8千円

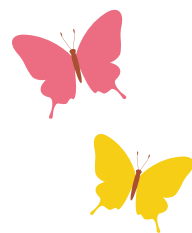
入所見込児童数の増加等に伴い施設型給付費(委託費)を増額するもの。

教育費

小学校教育振興事業費

△620万円

特別支援教育支援員の勤務時間の実績見込みやパソコンリース開始時期変更に伴う不用額の減額、また、準要保護児童の増加に伴い就学援助費を増額するもの。



農業水産事業費

活動火山周辺地域防災
営農対策事業費

1億285万4千円

7事業主体が追加採択されたことによる増額補正で、摘採機能付き降灰除去機17台の導入に対し補助するもの。

土木費

県道整備事業費

233万2千円

県道石垣加世田線(下山田地区)他2工区の事業費確定に伴い負担金を増額するもの。



県道石垣加世田線(下山田地区)

特別会計 補正予算

国民健康保険事業

一般被保険者療養給付費

△6961万円

一般被保険者の療養給付費の実績及び伸び率により推計した医療費等負担金、不用見込み分を減額するもの。

介護保険事業

居宅介護サービス給付費

3500万円

給付費の不足が見込まれるため補正を行うもの。

高齢者元気度アップ・ポイント事業

120万円

健康づくりや社会参加活動に対して付与されるポイントの交換に要する費用に不足が見込まれるため増額するもの。



御領体育館

社会体育施設管理費

1274万2千円

御領体育館の屋根部分が経年劣化により雨漏りが発生し、天井・床の腐食や漏電などの危険が生じる恐れがあることから、使用者の安全を確保するため工事請負費を増額するもの。

平成31年1月11日に第1回臨時議会が開催され、補正予算1件が可決されました。



議会 岩屋公園周辺の道路は、交通量が増加している。観光客、地域住民等が安全に通行できるように周辺道路の整備をしていただきた

特に市道清水横堀線、桜元古殿線には格段の配慮をいただきたい。

行政 市道清水横堀線は、H31年度より整備を再開する。市道桜元古殿線については、31年度より計画的な補修を進める。

市道の整備を
回答／整備補修を
進める



議会 統合願娃中学校の自転車通学路となる県道願娃川辺線の歩道未設置部分の解消を県に強く要望してもらいたい。また、防犯灯を設置していただきたい。

行政 統合後の願娃中学校の通学状況をみながら、南九州市通学路安全推進協議会での点検等を踏まえ、県へ要望していく。

防犯灯においては、自転車通学路への設置を検討する。

統合願娃中の通学路
整備と防犯灯の設置を
回答／自転車通学路に
防犯灯の設置を検討

宮脇地区・
栗ヶ窪地区

議会 新庁舎建設後、現在の願娃支所・川辺支所はどうなるのか市民に対し説明責任を果たしていただきたい。

行政 2支所の庁舎は存続する。具体的な庁舎存続の内容については、今後本庁舎建設に向けた基本構想の策定に合わせ検討し、市民の皆様の意見を聴くとともに、必要に応じて説明も行う。

議会 農業後継者の育成確保及び担い手農家への支援制度の充実を国・県に強く要望していただきたい。

行政 予算拡大と条件緩和について、引き続き要望していく。

新庁舎建設後の願娃・川辺支所はどうなるのか
回答／存続する

担い手農家の支援充実
向け国・県へ要望を
回答／要望する

市民と語る会 団体募集！

南九州市議会では、市民の皆様と意見交換を行う
市民と語る会を実施します。

- 対象 下記の分野に関係する団体（概ね10名以上）
（例：農業・商工・観光・福祉・文化・まちおこしなど）
- 開催時期 8月上旬（時間は1時間30分程度）
- 内容 あらかじめ提案されたテーマに基づき、意見交換を行います。
- 応募方法 議会事務局へ電話かメールでお申込みください。
- 申込締切 令和元年6月5日(水)
- お問合せ 南九州市議会事務局 電話：0993-83-2511(内線2511・2512)
メール：gikai@city.minamikyushu.lg.jp

※日程やテーマ内容については改めて打合せをさせていただきます。

議会報告会 2地区公民館にて開催

南九州市議会では、開かれた議会をめざして市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。

いただきましたご意見を参考に要望書を作成し、行政に提出しました。

1. 開催 以下の日程で開催されました。

開催日	地区	参加者	テーマ
平成30年10月15日	清水	31人	岩屋公園観光振興の課題
平成30年10月22日	宮脇・栗ヶ窪	31人	空き家対策について 通学路の安全について



会場：清水地区公民館



会場：宮脇地区公民館

2. 要望 いただいた意見を元に行政に要望し、回答を得ました。

清水地区

議会 磨崖仏の見学場所が現在立ち入り禁止となっているが、対岸の見学場所へ安全にアクセスできるように景観も含めて整備をしていただきたい。

行政 県指定文化財清水磨崖仏群については、落石に対する安全対策のため、フェンスにより進入防止を継続している。

その対応策として対岸に設けた見学場所から眺望を阻害している樹木等については、景観を損なわない範囲内で伐採を進めていく。

その後の整備については、関係機関等と協議を進めながら、計画的な整備計画の立案に努める。

**岩屋公園周辺の史跡等を活用した新たな観光ルートを構築を
回答／検討する**

議会 岩屋公園周辺に点在している史跡等を活かした新たな観光ルートの構築や看板を設置するなど、観光誘致に取り組んでいただきたい。

行政 岩屋公園周辺には、市指定や未指定の文化財が点在しており、これまで文化財巡りやウォークラリーを実施してきた。

文化財の調査・保存を進めていくとともに、活用も考えていく。

観光ルートについては、市内の観光周遊ルートとして、SNSや観光パンフレット等で旅行会社等に紹介をしている。

今後も情報発信を積極的に行うとともに、案内看板等の設置についても検討する。

市民の声を行政に問う

一般質問 13人が登壇

議会会議録はこちらで見ることができます。

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

内園 自衛隊の新規募
入。市
長の見解を問う。
市
長 首相の発言につ
いて、個人的感想を述べ
るの控える。しかし世
界平和を国内外に訴える
南九州市長として、戦争
の悲惨な惨劇は二度と繰
り返してはならないと願
う。



市内企業で働く外国人労働者の様子

総務課長 住民基本台帳より抽出したものか。
内園 18歳、22歳の名簿を提供している。
総務課長 住民基本台帳より抽出したものか。
内園 18歳、22歳の名簿を提供している。
総務課長 住民基本台帳より抽出したものか。
内園 18歳、22歳の名簿を提供している。

その他の質問
・子どもの虐待



内園 知恵子 議員

憲法9条改憲

市長の見解を問う

市長／個人的感想を述べるのは控える

集に対して、本市も名簿提供を要求されたはずだが、どのように対応したか。

内園 4月から外国人労働者の受入が拡大される。本市において、語学教育や生活支援等受入体制は整っているか、現状と対策を問う。

市長 新外国人受入制度について、国からの説明会がある。内容を把握し、市の役割を検討する。

内園 文化の違いから生じる問題や交流のあり方、住みやすい地域づくりについて話し合う対策会議を本市も立ち上げる考えはないか。

企画課長 多文化共生に取り組んでいき

議会全員協議会

◆行政当局より議会へ説明のあった件◆

浦芝原研修センターの無償譲渡について

本施設は、平成16年度に旧額娃町が農村地域住民の研修、講習の拠点として建設し、地域における担い手の育成、地域農業の研修を行うなど、現在まで浦芝原自治会にて維持管理されてきたところである。
今回、南九州市から浦芝原自治会へ建物の名義を変更し、今後も引き続き自治会の拠点施設として活用する。

知覧中継所の市直営化について

現在、知覧中継所は、知覧地域のごみ中継施設として南薩地区衛生管理組合が管理運営をしている。2020年4月からの市直営化に向けて組合や構成市と協議を開始する。



知覧ごみ中継所

旧額娃准看護学校の財産処分にかかる補助金清算について

旧額娃准看護学校は、昭和40年4月、地域の保健・医療・福祉・教育の向上を目的に開校したが、学生の減少や実習場所の確保等が困難になったことにより、平成27年3月をもって閉校となった。

財産処分に当たって、施設が国庫補助金等を充てたものであるため、関係法令等に基づいた手続きの必要があること等から、市内外の事業者からの取得要望があっても即座に対応できない状況にある。今回補助金の清算手続きを行うことで、取得に意欲のある事業者に対し、財産処分手続きをスムーズに進めていけるものと考えている。



旧額娃准看護学校

その他の議会全員協議会

- ◎私権債の放棄について
- ◎南九州市プロモーション動画について

南九州市立小学校将来のあり方検討委員会答申について

今後も児童数の減少傾向が続くことが予想されることから、教育委員会は長期的な視点に立ち、小学校の将来を展望した小学校のあり方について、幅広い見地から検討するため「南九州市立小学校将来のあり方検討委員会」を設置し、検討委員会へ具体的方策について諮問した。
諮問を受けた検討委員会は、平成29年7月からこれまで8回の会議を重ね、審議結果をまとめ教育委員会に答申した。

答申内容は、学校規模の大小が児童の教育活動に与える影響には、様々なメリット・デメリットが考えられるが、充実した学校教育、より良い教育環境を整備するうえで、適正規模・適正配置（①学校規模・②通学距離時間等・③地域との関係）についての基本的な考え方に近づけるための方策を検討し、適正規模・適正配置に向けた取り組みにおいて配慮すべき事項や再編しない学校への支援を盛り込んだ答申となった。



こちらのQRコードから「答申」へアクセス

川辺清掃センター焼却灰処分調査業務委託の結果について

川辺最終処分場の埋立廃棄物容量は約43,500㎡であり、そのうち1,209㎡の埋立廃棄物がダイオキシン類の環境基準値を満足していなかった。しかし、下層の地山や埋立区域の外側においてはダイオキシン類の汚染は確認されなかった。また、川辺最終処分場内における水質監視の値も廃棄物の処理及び清掃に関する法律の維持管理基準を満足して安定的に推移していた。



川辺清掃センター内の未処分焼却灰

国民健康保険

家族数の多い世帯や子育て世帯の均等割を撤廃する考えは

市長／財源確保に均等割りが必要、撤廃の考えはない



大倉野 由美子 議員

変緩和措置のための財源確保を要請した。

大倉野

家族数の多い世帯、子育て世帯の均等割りの保険税を撤廃するため、一般会計からの繰り入れを行う計画はないか。

市長 県へ納める納付金の財源確保のために均等割りが必要で、撤廃の考えはない。

一般会計からの繰り入れについて県は段階的解消を示した。一般会計からの繰り入れで軽減をする計画はない。

その他の質問
消費税増税中止
会計年度任用職員制度



大倉野 全国市長会が国に公費の増額を要請しているがその内容は、9団体から、公費投入の確実な実施と保険料の激

別府中学校

閉校後の施設の活用は

教育長／様々な観点から検討を進めている



米満 孝二 議員

米満 地区や地元の団体等に優先して活用させる考えはないか。

教育長 地域防災計画において指定避難所に位置付けられており、当該地域での活用を優先したいという考えから、地域との協議を進めている。

その他の質問
スクールバス乗降場所の安全確保



閉校した別府中学校

米満 本年度で閉校となる別府中学校については、地域から閉校後の施設活用について要望が出されているようである。
その内容と市の対応を問う。
教育長 別府地区から5件の要望が出されており、事業効果等を十分に精査しながら検討したい。
また、地域で活用する場合は、施設全体の維持管理を基本と考えている。

新庁舎建設

完成年度の目標は

市長／財源確保のめどがたった段階で計画を進めていきたい



加治佐 民生 議員

市全域における新たな仕組みを検討することとしている。

加治佐

市長は、昨年10月の市長と語る会で、「平成40年度新庁舎完成の目標にこだわらない」と発言しているが、その真意を問う。

市長

新庁舎建設に必須となる

その他の質問
・新生額娃中通路路整備
・中学校の跡地利用

要となる有利な*合併推進債のめどがたっていないからである。
今後は、建設に必要な財源がある程度確保できることとなった段階で計画を進めていきたい。

*合併推進債・・施設等の整備事業を行う際に合併市町村が借りることができる地方債。現在のところ期限は平成34年度までとなっている。



新庁舎建設のゆくえは

市長 新庁舎建設に当たっては、市民による検討委員会を設置し、提言をいただいている。
この提言に基づき、昨年9月に新庁舎に関する市の方針を決定した。
3地域の均衡ある発展のため、それぞれの地域特性を生かした地域振興策を検討する。市民サービスの低下を招かないように、

空き家対策

空き家の活用策として民間の取り組みに支援を行う考えは

市長／支援を検討する



蔵元 慎一 議員

市長 地域やNPO法人等が、空き家を改修し、お試し居住やゲストハウスの用途に活用するなどの取り組みが行

みも進められている。市は支援を行う考えはないか。

われている。
移住者を積極的に迎え入れること及び交流人口の拡大を図ることは、地域のコミュニティ機能の維持の面からも効果がある。
所有者と利用希望者のマッチングや移住後のサポート等を考慮すると、地域、自治会及びNPO法人の取り組みは、非常に重要である。
取り組みに対する支援について、検討していきたい。



再生された空き家（高田地区）

蔵元 南九州市空家等の適正管理に係る条例制定後の空き家対策に関する取り組みを示す。
市長 H29年度から空家対策事業に取り組んでいる。空き家の相談件数は、30年2月末現在で131件の相談があり、「助言」「指導」「特措法に伴う現地調査」を実施し、特定空家認定を含めた除却支援事業を推進している。
蔵元 空き家の活用策として、民間の取り組

児童虐待

市及び教育委員会の対応を問う

市長／児童相談所や関係機関との連携を密にし対処する



大倉野 忠浩 議員

合、必ず複数で対応することとしている。

大倉野 関係機関との連携は。

市長 関係機関等の代表者12名で組織する南九州市要保護児童対策地域協議会を設置し、連携、協力のもと虐待をはじめ

様々な事案に対応している。

大倉野 児童虐待に対処するための専門家を活用する考えは。

市長 児童福祉司や臨床心理士などの専門職を配置する考えはない。

認知症対策

具体的な取り組みについて

市長／介護保険事業計画に定める各種事業を展開



山下 つきみ 議員

成を行い、地域での見守りにつなげる。また、容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供に、認知症初期集中支援チームを配置し、早期診断・早期支援に向けた体制を構築していく。

山下 認知症の人が起こした火災や事故等で、第三者に負わせた損害を補償される認知症保険に加入する自治体が増えていく。在宅での介護家族の不安の軽減、安心の提供にもなると思うが、本市で取り組む考えはないか。

市長 初めて聞く保険だが、実施自治体を参考に検討することも必要と思う。

大倉野 市における児童虐待の実態は。

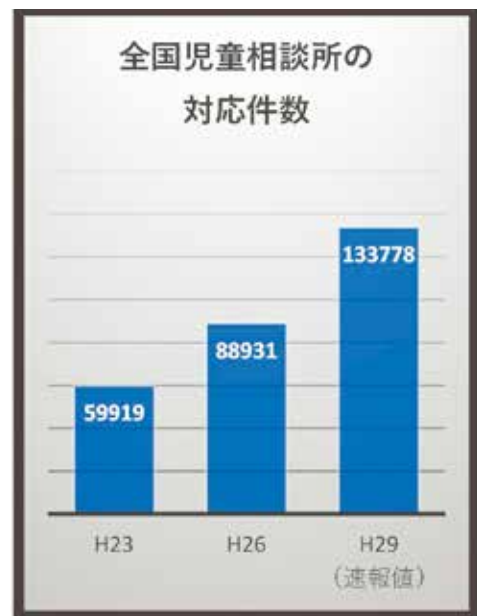
市長 重篤な案件は少なく安定した状況を確認している。

大倉野 市の具体的対応は。

市長 市福祉事務所に家庭相談員2名を配置し、適切に対処する体制を整えている。

大倉野 教育委員会の具体的対応は。

教育長 事例を参考に職員の知識や対応能力の向上を図り、理不尽、威圧的要求が予想される場



(厚生労働省資料より作成)

山下 H28年、厚労省の実態調査では全国の要介護の主な原因の1位が、認知症となっている。本市においては、脳卒中に次いで2位に認知症という結果が出ている。全国的に認知症が起因と思われる事故等が多く発生しており、高齢化が進む中、認知症施策は喫緊の課題と考えるが、本市の具体策を問う。



認知症カフェ

(顔姪：にじよじ茶屋 知覧：カフェほのぼの 川辺：カフェなごみ)

認知症カフェとは？
認知症が心配な方、介護されている方、地域の方など様々な方が集まり、認知症について皆で学び理解を深める場です。

外国人労働者への対応

市内在住外国人対応の窓口を設置する考えは

市長／外国人労働者の状況を見ながら検討する



西 次雄 議員

市長 地域住民とのトラブル等に関して、現在は対応する部署はない。今後、外国人労働者の状況を見ながら検討する。

西 非正規労働者の待遇が全国で議論されている。本市の状況を問う。

市長 約140人の嘱託職員等が業務に従事している。

全国統一的な制度に基づき、適正に対応していきたい。

本市の嘱託職員等の状況を問う
市長／約140人の嘱託職員が業務に従事

子どもの遊び場環境

既存施設の活用と整備を進める考えはないか

市長／既存施設の活用を検討する



日置 友幸 議員

の意見を聞くべきだと思う。市政懇談会で子育て世代の方々と意見交換を図り、屋内の遊び場環境整備を進めた。今後は、もっと具体的なことや踏み込んだ意見を聞いていきたい。

子どもの学習支援事業の早急な実施を
市長／H32年度から実施したい

日置 生活困窮者自

その他の質問
・デジタルファーストと行政改革

市長 31年度に調査・研究をし、32年度から実施できるようにしたい。

市長 教育関係者と連携を図りながら実施に向け協議・検討したい。教える方の確保が一番の課題だ。

日置 支援事業を実施できないのは私たち政治の責任だ。県内全19市のうち16、17市が実施予定である。早急な実施を。

西 本年4月から外国人労働者の受け入れが拡大されるが、本市に在住する外国人の状況を問う。
市長 H31年2月22日現在で、市内に在住する外国人は363人、男136人、女227人となっている。



市内企業で働く外国人労働者

日置 子どもの心身発達において遊びは重要な役割を果たす。また利用者から遊具更新の要望を多く聞く。既存施設の活用と整備を進める考えはないか。
市長 サービス体制と市民ニーズをきちんと比べたうえで、既存施設の活用を検討していく。

市長 利用者の声をもっと積極的に聞くことが大切だ。市の考えは。実際に使う人々



岩屋公園で遊ぶ子どもたち

保育所施設

受入れの課題と対策は

市長／環境整備の事業計画を作成して
いく



吉永 賢三 議員

吉永 保育所施設受入の課題と対策を問う。

市長 市内19園の定員数は、980人となっている。H29年度中に認可外1カ所と院内保育施設1カ所が廃止となった。一方、入所希望は増え、入所調整も困難な状況である。

31年度に向け定員を20人増やし、受け入れ体制の強化を図った。

吉永 保育士不足の状況は。

市長 28年10月から子育て人材バンクを設立し、保育士等の確保による保



おののもり保育園

育体制の充実を図っているが状況は厳しい。
吉永 今後の受入対策は、
市長 「子ども子育てのためのアンケート調査」の結果を分析し、子どもを安心して保育できるための環境整備の事業計画を作り上げたい。

利用者支援事業の具体的な取り組みは
市長／相談事業所を開設する

吉永 施政方針に利用者支援事業に取り組むとあるが、どのような取り組みか。
市長 4月から知覧まち商店街の一角に相談事業所「南九州市子育て利用センターつみき」を開設し、相談に応じる。月、水、金の週3日、午前9時30分から午後3時まで開館。
18才までの子どもと保護者が対象であるが、就学前の子育て世代の利用が中心となると予想している。

その他の質問
・新庁舎建設

畜産振興

採卵鶏農家に対する支援策は

市長／生産者積立金の一部を助成



鮫島 信行 議員

鮫島 近年、卵価が低迷し、採卵鶏農家が厳しい経営環境にある。
市独自の支援策を講じる考えはないか。

市長 採卵鶏農家の経営安定を図るため、生産者による卵価安定基金への積立てがなされており、鶏卵の標準取引価格が補填基準価格を下回った場合、この基金から価格差補填交付金と国の補助金が交付される。

市では、農家の負担軽減を図るため、生産者積立金の一部を助成している。今

後も継続していく。
豚コレラ対策は万全か
市長／防疫資材購入助成等を行い、地域の防疫体制を整えている

鮫島 国内で豚コレラが発生している。



ウインドレス鶏舎

本市の家畜防疫体制は万全か。
市長 本市では、家畜防疫マニュアルを作成し、家畜伝染病が発生した場合、速やかな初動が行えるよう体制整備を図っている。
養豚に関しては、南九州市豚疾病防疫協議会を組織している。
防疫の重要性を普及啓発し、自分の農場は自分で守るという防疫に対する意識の向上を図るとともに、豚流行性下痢ワクチン接種や消毒薬等の防疫資材購入に対する助成を行い、地域の防疫体制を整えている。

県道整備

霜出南別府線及び石垣加世田線の整備について

市長／引き続き整備を要望する



竹迫 毅 議員

竹迫 霜出南別府線の事業実施を県へ要望するよう求めているが、その後

市長 南薩地区開発期成会等で整備の要望を行っているが、財政や他路線の整備状況から現在の事業化は難しい状況であるとのことである。

竹迫 旧二松中跡から松ヶ浦間、JA松山出張所近くの信号からヒゲボトケドンの間は狭くて大変危険なところがあり、引き続き要望してはどうか。

市長 今後も要望する。



県道石垣加世田線（本別府地区）

竹迫 石垣加世田線の森の学校から深野木間は狭くてカーブも多く、利用

も多い。大変危険であることから、県に要望する考えはないか。

市長 現在、水成川工区

と下山田工区の整備を行っており、整備中の箇所が完了したら、未整備区間の事業着手を要望する。
竹迫 松山西垂水間の側溝に蓋のない所があり、特に夜間は危険である。県に要望してはどうか。

市長 調査を行い、県に要望していききたい。

その他の質問
・児童虐待
・学校跡地の活用

小学校再編

どのように進めていく考えか

教育長／検討委員会の答申を受け、基本方針を決定し、情報発信に努める



川畑 実道 議員

川畑 小学校将来のあり方検討委員会の答申を受け、小学校の再編をどのように進めていく考えか。

教育長 答申の内容を審議の上、基本方針を決定し、情報発信に努めている。

川畑 各地域でいろいろな考え方・要望等があるがどのように進めるのか。

教育長 情報収集に努め、一部の住民の負担とならないよう、保護者や地域住民の方々の十分な

理解と協力が得られるように丁寧な協議を行う。
小中学校の学力向上の取り組みを示せ
教育長／各学校の実態に応じた特色ある取り組みを実施する

川畑 授業改善の特色ある取り組みを問う。

教育長 校内研修の取り組みで、学習指導案づくりを全教員でアイデアを出し合い作成し、授業づくりを行っている。

川畑 学力調査等の結果を生かした取組を問う。

教育長 調査結果を全職員で分析し、特に解けなかった問題に対し、教員同士で模擬授業を実施している。



研究授業の様子

取り組みを問う。
教育長 英語は、2020年度から外国語科として取り組む。
道徳は、小学校では本年度から、中学校では来年度から教科として年間35時間実施することとなる。

その他の質問
・児童生徒の虐待について

インタビュー

地域おこし協力隊

前迫昇吾 蔵元恵佑

地方に移住し、地域課題を共に発見・解決していく「地域おこし協力隊」。南九州市には現在3名の隊員がいます。今回は、隊員の前迫さんと蔵元さんにお話を伺いました。

(インタビュアー 鮫島信行)



前迫昇吾(写真左)

1989年、鹿児島市生まれ。
大学卒業後、東京を拠点に
webデザイナーとして活躍。
2016年より本市に赴任。

蔵元恵佑(写真右)

1989年、鹿児島市生まれ。
大学卒業後、大手家具メー
カーに勤務。2017年より本
市に赴任。(株)オコソコ代表。

——本市の協力隊に応募されたきっかけは何だったのでしょうか。

前迫 NPO法人頤娃おこそ会の加藤さんとの出会いです。「地域にデザインが足りない」と協力隊の応募に声をかけてもらいました。

蔵元 私も加藤さんがきっかけです。人に惹かれて応募したと言えます。

——隊員になられて良かった点を教えてください。

前迫 東京ではWEBデザインの仕事をしていましたが、地域では紙媒体でのデザインを求められることも多く、そのスキルが上がりました。空き家再生の本をデザインし完成させたことが印象に残っています。

蔵元 メーカー勤務時代は売ることが仕事でしたが、現在は企画や商品を見つけたり作る場所から始めます。ゼロからの挑戦で様々な人と出会い、自分が成長できていると感じます。

——逆に残念だった部分を教えてください。

前迫 非常に安価に仕事を依頼されることがあります。自分が地域おこし協力隊だからかもしれないし、デザイン業になじみが薄いからかもしれない。地域でデザイナーという仕事が成り立つため、安易に仕事を受けないと決めていました。

——最後に一言お願いします。

蔵元 残念な部分は無いのですが、驚くことはあります。例えば公民館の予算。貯金がたくさんあるけれど使い道が決められない。責任をもってお金をハンドリングできる人が地域に求められていると感じます。

——最後に一言お願いします。

前迫 人口減少は止められない流れです。この流れに沿って、既存の組織を再編したり多様な声を反映させたまちが求められていると思います。

蔵元 南九州市が「何のまち」なのかしつかり絞って掲げるべきです。そうすれば市の制度設計もやりやすくなるし、共感を得た人が来てくれると思います。

編集後記

市は、人口減少に歯止めをかけようと、移住定住の促進や交流人口の促進を図るため各種事業に取り組み、健康な状態で少しでも長生きをして欲しいとの対策を講じています。

平成28年度からは「貯筋運動」を地域に広げる取り組みが始まり、活動する団体も少しずつ増えているようです。

大川かまふた会は、高齢者の方々の会で、結成から10年を経過し、毎月2回の集会ではもの足りないという方もおられるほどです。

会では、歌を歌い、貯筋運動をし、さらには自治会内の除草などのボランティア活動を行っています。特に、独居生活の方にとって、この時間は楽しみとなっています。

市としても活動費の助成を行いながら、長寿社会づくりに積極的な取り組みを行っており、これからも高齢者の方が一人でも多く地域の活動に参加して、楽しい人生となることを期待しています。(米満)

広報編集委員会

委員長 鮫島 信行
副委員長 日置 友幸
委員 米満 孝二
大久保 太智
内園 知恵子
松久 保正毅

